

片瀬だより

令和7年3月25日 発行
 編集・発行
 片瀬だより編集委員会
 藤沢市片瀬3丁目9番6号
 電話 29-7171
 FAX 25-8907

◎申込みは、すべて片瀬市民センター地域づくり担当へ(平日のみ午前8時30分〜午後5時まで)

生涯学習事業のお知らせ

申込み、詳細は広報・地域回覧・ホームページをご確認ください。

4月より、公民館と市民センターが一体化され、「公民館」という名称はなくなりますが、「市民センター生涯学習事業」として、引き続きたくさんの講座を行っていきます。今後ともよろしくお願ひいたします。

片瀬市民センター(本館)		
えのしま・かたせ 子育て応援メッセ 6月18日(水) 午前10時から 11時30分まで	イルカ学級 ～子育てはじめての一步～ 5月13日(火)から 7月19日(土)まで全6回 午前10時から正午まで	片瀬福寿学校 5月8日(木)から 2月12日(木)まで全13回 午後2時から午後4時まで
親子で磯体験! ～江の島で遊ぼう～ 6月14日(土) 午前9時から午後1時まで	わくわく子ども天国 6月下旬予定	6月以降も、新規事業を含め 様々な事業を予定して おります。 ご期待ください。

片瀬しおさいセンター(分館)		
赤ちゃん和妈妈のふれ愛タイム ～バランスボール～ 6月5日(木) 午前10時から11時30分まで 2か月から1歳0か月児と母親	楽しく子育て 5月21日(水) 午前10時から11時30分まで 『みんなで一緒に3B体操①』 ※6月は子育て応援メッセ開催のため、ございません。	『楽しく子育て』は、 4月から片瀬しおさい センターに開催場所が 変わります。募集人数 も増えますので、お誘 いあわせのうえご参加 ください。
おもちゃの病院 4月19日(土)・5月17日(土) 6月21日(土) 午後1時30分から3時まで ※部品代がかかる場合があります。	スマホお助け隊 4月24日(木)・5月15日(木) 6月19日(木) 午前9時から正午まで	ようこそ小さな空間「アンソレイユ」 4月7日(月)・5月12日(月) 6月2日(月) 午前10時から正午まで
昼のエクササイズ ～優しく身体を整えるヨガ～ 5月9日(金)・6月13日(金) 午前10時から11時15分まで	夜のエクササイズ ～脂肪燃焼! ボクシングエクササイズ～ 6月25日(水) 午後7時から8時まで	スポーツ入門講座 卓球に挑戦Ⅱ! 5月27日(火)・6月3日(火)・ 10日(火)・17日(火)・24日(火) 午前10時から正午まで ※全5回参加できる方



講座の
ご案内



片瀬の老舗を訪ねて⑮

「渡辺本店(貝細工・土産物)」

かつては江の島の土産物として有名だったものの一つに貝細工がありました。今では扱う店も減り、島の中でも貝細工専門の店は数えるほどになりました。

今回はその貝細工の製造・問屋として80年の歴史を持つ「渡辺本店」さんをお訪ねしました。

江の島神社参道の半ばにあるお店のショーウィンドウには、昭和初期に貝で作られた大きな帆船や、お城が飾られています。店内にはカラフルな貝やアクセサリ、小物などがところ狭しと並んでいます。



貝で作られたお城が飾られています。



たくさんの貝が並んでいます。

貝の細工は、近年環境問題などで国産のものは使用が出来ず、現在では素材、製品(日本でデザインされたもの)の多くはフィリピンから輸入されているそうです。

海外からの観光客で季節を問わず賑わう江の島。お店にも次々に来店

されています。貝で作られた風鈴も日本人は白く清楚なものを好み、海外の人はカラフルで音の大きいものを好み、お国柄が現れるとのことでした。

接客の中心を担う奥様の渡邊さち子さんは「貝は自然物なので、形色など同じものはありません。そこが面白いですね。また、小さな子どもさんが珍しい貝を探しに来てくれるのも楽しみです。ほぼ、休みなく店を開けていますが、国の内外を問わず、多彩な方々が来店してくるので楽しいです」と話されています。

伝統の貝細工。店内をゆっくりご覧になると、興味深い世界が広がっています。



天然貝のアクセサリも素敵です。



店主の渡邊晃一郎さん・さち子さんご夫妻

私の散歩道

公民館へ行った帰りなどにふらりと立ち寄りたくなるのが常立寺です。早春の紅梅やしだれ梅、若葉の頃を過ぎると、木々の葉陰は強い日差しを避けた、心地良い休憩場所となります。

秋には、いちようの葉が見事に色づき、葉の落ちたあとは、境内を黄一色で覆いつくしています。



休憩場所も風情があつて素敵です。

そして4月には藤沢場所を翌日に控えたモングル出身の力士達が「元始塚」にお参りするのを目見ようと、大勢の人が集まります。今年には力士たちの訪問は予定されていないそうで残念です。



「元始塚」



山門の梅もきれいです。

「片瀬だより」編集委員募集

【募集内容】

★片瀬の自然や歴史に興味があり、文章を書くことが好きな方。

★年4回(6月・9月・12月・3月)発行。発行の2か月前から編集会議、印刷後に配布準備など3〜4回程度、参加できる方。

【お問い合わせ】

片瀬市民センター内

「片瀬だより」担当まで

☎0466-29-7171



江の島道をめぐる 密蔵寺

今回は片瀬小学校を南にしばらく下ったところにある密蔵寺を紹介しします。創立は嘉元年間(1303~06年)頃、鎌倉時代に開山した古いお寺ですが、天保二年(1831年)に火災にあつて焼失しました。その後、天保六年(1835年)良忍が再興しました。この寺は相模国準四国八十八箇所のうち十七番札所にあたります。

密蔵寺の中興権代律師である良忍が、寺運の興隆を図ろうと新四国八十八霊場の設置を企画し、密蔵寺の檀信徒、特に在京の法縁・地縁者によびかけました。霊場ごとに弘法大師一体と由来碑を施主の願望に従い、当該霊場を据致する形をとったことが好評を博して、大正七・八兩年(1918・19年)中に十三霊場を設置しましたが、二十六霊場を設置したところで大正十二年(1923年)関東大震災に遭い、中断してしまいます。その後昭和三十八年(1963年)までに三十霊場を設置するにとどまっています。現在は四国八十八箇所各霊場の砂が納められたところで、「お砂踏み」をして八十八箇所を巡拝したおかげをいただけるようになってい



本尊は薬師如来ですが、江戸末期頃から愛染明王(あいぜんみょうおう)の寺として知られており、この愛染明王を祀ることにちなんで昭和十二年(1957年)4月24日、女優木暮美千代さんにより、愛染明王標石の脇に桂が「愛染かつら」の記念樹として植樹されています。

木暮さんは川口松太郎の同名小説の映画化『愛染かつら』の後編『続愛染かつら』に出演されていた縁で植樹されたようです。小説『愛染かつら』の題名自体は東京都台東区の自性院にある愛染明王像と桂の木に由来するようです。

今回は藤沢市文化財総合調査報告書第6集(藤沢市教育委員会、1991年3月発行)や藤沢市文化財ハイキングコース(改訂第2版 藤沢市教育委員会、2000年3月発行)を参考にしました。

前回の片瀬だよりで片瀬新屋敷遺跡を紹介した際に遺跡の場所がわかる地図を掲載していませんでしたので、ここに合わせて掲載いたします。申し訳ありませんでした。

※こちらの連載は、今回で最終回となります。ご愛読ありがとうございました。



密蔵寺の弘法大師像と由来碑

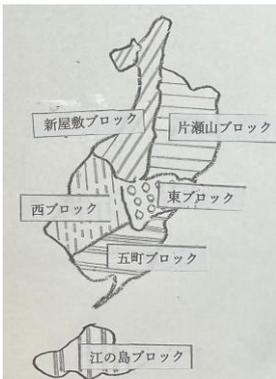
数字で知る片瀬① 「人口」

片瀬地区は大きく5つのブロックに分かれた自治町内会が26個あります。それぞれが地域の課題と取り組みながら活動しています。詳しくは毎年10月に発行される「かたせ自治連だより」で知ることができます。「片瀬だより」の配布も自治会の皆さんにより行われています。

【片瀬地区内の人口表(年齢別)】 2024年10月時点

0~14歳	2,108人
15~64歳	12,322人
65歳以上	5,775人
75歳以上	3,575人
合計	20,205人

(藤沢市総務部文書統計課より)



片瀬地区自治町内会ブロック

ふるさと片瀬く今昔あれこれ(46)

中村 喬

「交番や駐在所のある暮らし」

昨年の暮れ、片瀬市民センターで藤沢警察署片瀬山駐在員の佐武隆一さんの貴重な話を聞くことができた。多発する泥棒や詐欺について地域での実情や身を守る対策について学んだ。平成九年から片瀬山に勤務されている佐武さんのお話は親しみやすく説得力があった。

現在片瀬江の島地区には二つの駐在所と一つの交番があつて暮らしの安心安全のために活動して下さっている。藤沢市の南部を管轄する藤沢警察署管内には三か所の駐在所があるがそのうちの二つが私たちの地域にある。片瀬山駐在所と江の島駐在所だ。交番は江の島の入り口の交差点にあつて地域住民だけでなく多くの観光客のためにも役立つ。人と人が直接つながることによってつくられる暮らしの安心感には有り難いと思う。

戦後の片瀬には現在、五町会館が建っている場所にも駐在所があつた。近くに江ノ電バスの駐車場があつたころのことである。駐在さんの子どもとは遊び友達もあつた。同級生の父上が江の島の駐在さんをしてたこともあつた。龍口寺の門前にも交番があつたように記憶している。

その頃、回覧板は手渡しで人から人へ

渡つた。日当たりのいい縁側におぼあちゃんや近所の人とお茶飲み話をしてた。近所に声をかければ鍵をかせずに出かけた。今、家から日の当たる縁側が消えた。回覧板はポストからポストへと渡っていく。町の治安はあちこちの防犯カメラが役目を果たしている。

町内には新湯と双葉湯という二軒の銭湯があつた。時には他家のお風呂に入れてもらつたりもした。「貰い湯」である。我が家にはまだ電話がなかつた。電話番号に(呼)とつけて親戚の電話を使わせてもらつたりもした。「呼び出し電話」である。この時代、市外にかけると電話は交換手がつないでくれた。人と人が直接つながつてた。「貰い湯」も「呼び出し電話」も死語になって久しい。

最近、市民会館の前の国道沿いにある石上交番が消えた。現在は藤沢駅川名交番が片瀬一丁目方面を受け持つてくださっているそうだ。腰越の電車通りで暮らしを見守ってくれているKOBANの表示があたたかい。

【見て見ると電話の声や春の月】



片瀬市民図書館からのご案内

電話28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも、一人10冊まで2週間借りられます。

〈開室時間〉

火・日曜日

午前10時～午後5時

《新刊案内》

「ゲーテはすべてを言った」

鈴木 結生

「謎の香りはパン屋から」

土屋 うさぎ

「そんな時は書店にどうぞ」

瀬尾 まい子

「財布は踊る」

原田 ひ香

「昇華(機捜235)」

今野 敏

「マンダラチャート」

垣谷 美雨

「鎌倉駅徒歩8分、また明日」

越智 月子

「ドヴォルザークに

染まるころ」

「近くも遠くもゆるり旅」

町田 その子

「架空犯」

益田 ミリ

「手帳のある暮らし」

東野 圭吾



柳沢 小実

のぞいてみよう！公民館

「スマホお助け隊」

毎月、第3週(4月は第4週、10月は第1週)木曜日に、しおさいセンターで行われている「スマホお助け隊」をご紹介します。

午前9時からの約1時間は「グループレッスン」で基本操作と便利な機能を学びます。

午前10時からと11時からの約1時間は「個別相談」は、お困りごとを解決できるよう、個別で操作方法などのご相談をお受けします。

特に「個別相談」は人気で、予約開始と同時に、埋まってしまうこともあります。なかなか聞きづらいスマホの操作方法。公民館の講座でお手伝いします。ご予約をお待ちしております。



編集後記

穏やかな年明けに続く2月は、各地で記録的な大雪となった。連日の報道で見る積雪には声が出るほど驚いた。今、海はきらめき、江の島は青空に凜として、片瀬川の川縁はヨモギやイタドリが芽吹き、春を迎えている。片瀬だよりが届く頃、新屋敷橋の袂の山桜は咲いているだろうか。それとも春風に舞っているのだろうか。(〇)